

# 令和2年度（2020年度）予算案について

市民と歩む次代につながるまちづくり

～『的確な情報発信・市政の見える化促進』～

令和2年2月21日

羽 島 市

# 1 予算編成に当たっての基本的な考え方等

## 1 令和2年度 市政運営方針

### 市政運営のキーワード

#### 市民と歩む次代につながるまちづくり ～『的確な情報発信・市政の見える化促進』～

令和元年度は、市政重点課題のひとつである市役所新庁舎建設工事を本格着工するとともに、平成19年に開始した駅北本郷土地地区画整理事業の完了、名鉄新羽島駅のバリアフリー化の実現と駅周辺の賑わいを創出した。

防災面では、国土強靱化の観点から長良川河川敷における防災船着場の開設等を実施した。各分野の課題に対し、正確な情報発信をすることで、着実に歩みを進めた年であった。

令和2年度は、引き続き市民協働施策等の実施による納得型行政を推進し、より一層の「的確な情報発信・市政の見える化」を促進することで、次代につながるまちづくりに向け、市民ニーズを的確に反映した事業の「選択と集中」を行う。

羽島の次代を切り拓く子ども・子育て、健幸づくり、教育、産業振興等の施策を進め、社会情勢等(SDGsの取組・Society5.0の推進)を踏まえた新たな施策の展開に努める。

# 1 予算編成に当たっての基本的な考え方等

## 2 予算編成に当たっての基本的な考え方

### ① 財政の「安定化対策」を踏まえたより実践的な予算編成

財政の「安定化対策」に基づき、具体的な「歳入確保」「歳出削減」策を市一丸となって構築し、市民の方々が市政を自分ごとと捉え、協働したまちづくり・人づくりにつながる次世代への負担を残さない財政運営、安定した市政運営に向けた「安定化対策」初年度のメリハリの効いた予算を編成した。

### ② 次世代への負担を残さない「選択と集中」の理念に基づく予算配分

限られた財源で激変する社会の状況や山積する課題に的確に対応するため、経常的経費の抑制・削減による財源の捻出はもとより、事業の財源性、実現性、発展性、継続性等を踏まえた優先順位を定め、「選択と集中」の理念に基づく真に必要な事業に予算を重点的に配分した。

### ③ 「羽島市第六次総合計画」等に沿った新たな施策展開

羽島市まちづくり基本条例の理念である「市民を主体としたまちづくり」に基づき、将来都市像「心安らく幸せ実感都市 はしま」実現のため、社会情勢等（SDGs（持続可能な開発目標）の取組やSociety5.0の推進等）も踏まえた新たな施策を展開する。

# 1 予算編成に当たっての基本的な考え方等

## 3 SDGs（持続可能な開発目標）等の推進

今後、少子化・高齢化、人口減少が続いていくなかで、持続可能な自治体経営・まちづくりを円滑に進めていくためには、多様化・複雑化する行政課題に対して、あらゆる施策を相互に連携させ、高みを目指す必要がある。

国際的な指針として、国連サミットで2015(平成27)年9月に採択されたSDGs(持続可能な開発目標)は、あらゆる分野を網羅し、市の実施する施策にも密接に関わっており、市政においても早期に取り組むことが重要であると考え、SDGs(持続可能な開発目標)等の推進を意識した予算編成を実施した。

また、Society5.0時代※の到来による技術革新の取組みをあらゆる施策で模索・取り入れることで、市民生活が豊かになる社会を目指す必要がある。

※Society5.0

狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く人類史上5番目の新たな社会(超スマート社会)。IoT(「Internet of Things」の略で様々な物がインターネットにつながること)、ロボット、人工知能(AI(「Artificial Intelligence」の略))、ビッグデータ等の新たな技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れてイノベーションを創出し、一人ひとりのニーズに合わせる形で社会的課題を解決する新たな社会である。

# 1 予算編成に当たっての基本的な考え方等

## 用語説明

## SDGs（持続可能な開発目標）

「Sustainable Development Goals」の略で、2015（平成27）年9月の国連サミットで採択された2016（平成28）年から2030（令和12）年までの長期的な開発の指針として採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された「持続可能な開発目標」であり、先進国を含む国際社会共通の目標である。

持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残されないことを誓っており、発展途上国のみならず、先進国も取り組む必要があるもの。

国では、2016（平成28）年5月に内閣に持続可能な開発目標（SDGs）推進本部を立ち上げ、「持続可能で強靱、そして誰一人取り残さない、経済、社会、環境の統合的向上が実現された未来への先駆者をめざす」というビジョンを掲げ、SDGsのゴールとターゲットのうち特に注力すべきものを示した8つの優先課題について、国内及び国外で施策を実施している。

### ■ SDGsのロゴ（17のゴール）



### ■ SDGs8つの優先課題

- 1 あらゆる人々の活躍の推進
- 2 健康・長寿の達成
- 3 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
- 4 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
- 5 省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会
- 6 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
- 7 平和と安全・安心社会の実現
- 8 SDGs実施推進の体制と手段